

がんばろう!! 能登 一歩一歩少しずつ前へ

金沢市従労NEWS

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30

令和6年 能登半島地震復興祈念 出張!! 輪島朝市も開催...
第95回メーデー 金沢中央大会



いしかわ四高記念公園におきまして、5月1日(水曜)午前9時30分より『令和6年・能登半島地震復興祈念～第95回メーデー☆金沢中央大会～』が開催されました。

今年1月1日に起きた最大震度7の地震により、これまで多くの人々の命を奪い、多大なる犠牲と苦痛を与え続け、これからの夢や希望までを失い、肉体的・精神的疲労を積み重ね、今も終わりの見えない不安と恐怖を抱えながら、慣れない日々を過ごしている方々がいます。

そんな中で、会場に「輪島市朝市組合」の方々による“魚の干物等”を販売する『出張☆朝市』が催された他、輪島市の伝統芸能である「御陣乗太鼓(名舟)」も披露されました。

能登からメーデーに参加された組合員からは、「生活用水」「金銭(経済)面」「予期せぬ支出」等の不安が多く挙げられ、ボランティアの増員も含めた「家財の運び出し」「瓦礫の撤去作業」「生活支援」等についての早急な対策が必要な課題が多く残されています。

今回、95回目となるメーデーでは、能登半島地震からの復旧および復興を心から願い、例年の祭典とは異なり「がんばろう!! 石川」を合言葉に、各労働組合の組織が団結して幅広い支援に繋げる活動と共に、労働環境の改善も含めた『みんなで支え合い・助け合おう!!』連帯の力で、平和と人権を守り誰もが安心して暮らせる新たなステージへ向けた闘いを、約1000人以上の参加者と確認いたしました。金沢市従労からも 坂本特別副執行委員長、福村退職者会会長、石島勝夫さん、坂下書記長等も参加されました。

なお、今年の春闘における内容についても触れ、139組合で妥結(4/26時点)しており、全国的な賃上げ傾向の流れを背景に、賃金の平均引き上げ額においては13,058円となり、昨年における約30年ぶりの高水準を上回る約3,300～3,400円の増額(引上げ率:4.49%)となっております。

2024 (令和6年) 10月27日 (日)

それぞれの42.195KM
 金沢でしか味わえない42.195KM

Entry 開始!!

MOVE FORWARD AS ONE. KM/OTH 2024

重要 Point 金沢マラソン 祝10回目☆記念大会 ~15000人を募集!!~

現役世代のサポート役としての基盤確保に向けた取り組み

5月22日(水曜)に石川県青少年研修センターにおいて、『退職者会組織拡大』に関する自治労石川県本部主催の今年度第2回目となる委員会が開催されました。

全国的に見ても、各都道府県における県本部等の単位で『退職者会』が設置されており、様々な連携強化における取り組みを進めている中で、自治労石川県本部においては北信地連4県の中でも唯一、自治体退職者会石川県支部と当該県本部が連携していない状況となっていたことから、これまで2016年4月15日に県本部退職会の立ち上げに向けた第一歩として『自治労石川県本部退職者会組織拡大委員会』を開催して以来、今日まで継続的な開催をできず、自治労石川県本部方針に基づき現役および退職者を繋ぐ取り組みができる『退職者会』の結成には残念ながら至っておりません。

この状況も含め、昨年12月15日に「自治労石川県本部退職者組織拡大委員会」の再構築を求め、各単組退職者会の状況や各単組との連携に関する現状・課題等を意見交換も交え確認し、一刻も早い『自治労石川県本部退職者会』の組織立ち上げに向けた提起をしております。

これに関しては「直ぐにでも立ち上げるべき!!」との意見がある一方で、県退職者会内に設置されている「自治体退職者会石川県本部」とのすみ分けについての御指摘もあります。

※ 自治体退職者会石川県本部

他県では「現職担当者=県本部」で、県本部が窓口となっています。石川県は他県とはつくりが異なっていることで、自治体退職者会県本部からの各情報および各々の取り組み内容における共有等が県本部とはこれまでなく、県本部内に『担当者』を配置できておりません。

今後についても、県本部方針に基づく活動や県本部現退一致行動の強化のため、県本部内に各単組退職者会が共に集える会の設置をする方向で検討を進めていくこととなります。

< 新たな枠組みによる組織図 >

